



学校だより 第11号

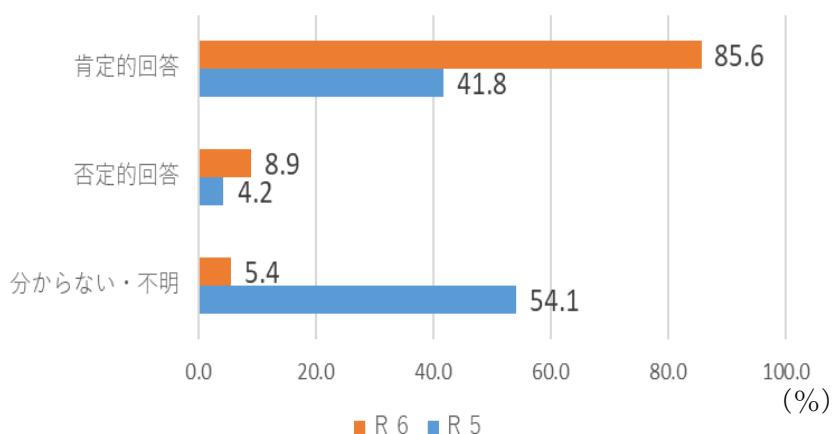
令和7年3月18日
新宿区立新宿西戸山中学校
校長 賀屋 寛
副校長 渡部 裕也

保護者アンケート結果報告

副校長 渡部 裕也

保護者・地域の皆様におかれましては、1年間本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき大変感謝しております。学校として、新年度に向けて令和6年度を振り返り、令和7年度の新たなスタートに向けて、しっかりと課題に向き合い教育活動を進めてまいります。新年度には保護者会にて校長から学校経営方針として、今回の結果を踏まえた教育課程を説明させていただく予定です。今回の学校だよりでは、先日実施した保護者アンケートの結果をお知らせするとともに、結果を踏まえた学校としての考えをお伝えさせていただきます。

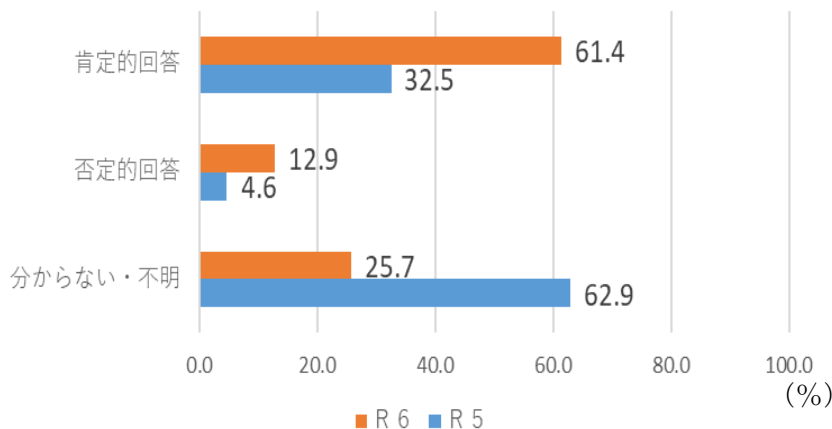
1. 子どもにいじめやいじめの疑いがある時には、
学校に相談することができる（と思う）。



肯定的回答が43.8ポイント上昇し、85.6%となりました。一方で否定的回答も上昇しました。

今後も引き続き、いじめのことだけではなく様々な事柄について、学級担任だけではなくスクールカウンセラーを含む全教職員で学校としてしっかりと相談を受け、寄り添った対応をしてまいります。

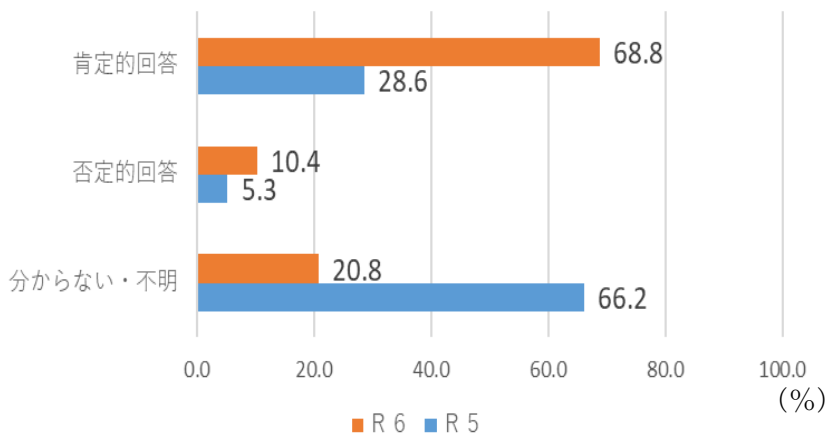
2. 学校の先生は、
分かりやすい授業を行っていると思う。



肯定的回答が上昇したものの、肯定的回答は61.4%であり、「わからない・不明」が25.7%でした。他の項目より「わからない・不明」の割合が多いのが特徴的です。

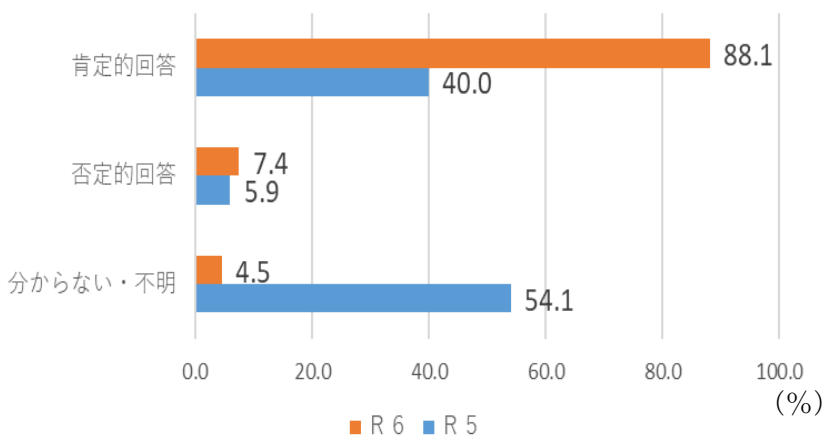
学校公開等における授業参観において授業の様子を公開するとともに、生徒の姿を通して生徒の成長が保護者に伝わるよう、さらに授業改善を進めてまいります。

3. 学校は、タブレット端末などを使って、子どもが「調べる」「まとめる」「伝え合う」授業をよく行っていると思う。



肯定的回答が上昇したものの、肯定的回答は68.8%でした。日頃の授業、学芸発表会（展示）、総合的な学習の時間の発表など、タブレット端末などを用いて「調べる」「まとめる」「伝え合う」という活動の質を充実させるために、ICT活用を校内研修のテーマとして、全教員がタブレット端末を効率よく活用するため具体的な方法を情報共有していきます。

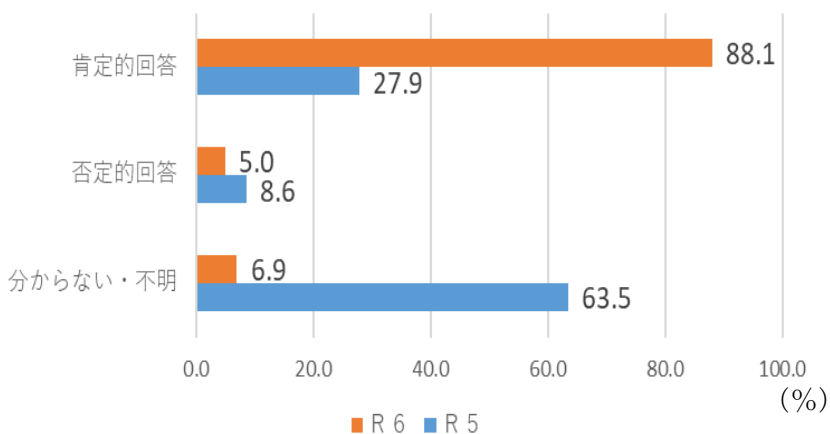
4. 学校は、日頃の教育活動の様子などについて、保護者や学校だより等で分かりやすく伝えていっていると思う。



他の項目と異なり、「わからない・不明」が最も低いのが特徴的です。

令和6年度は、学校と保護者との連絡ツールである「すぐーる」の導入により学校から保護者に学校だより等を直接配信することが可能となりました。引き続き、学校と保護者の連絡ツールを活用しつつ、生徒の様子が保護者の皆様に伝わるよう努めてまいります。

5. 学校は、子どもが学校に関わる地域の人と一緒に活動する機会をよくつくっていると思う。



他の項目と異なり、否定的回答が減少しています。

令和6年度は、新宿西戸山ソーランが復活するなど、地域協働学校の取組で地域での活動が増えました。引き続き、地域協働学校の取組や育成会等と連携したり、地域と連携した授業や行事を行ったりするなどして、地域の人と一緒に活動する機会を設けてまいります。